

令和5年度 学校評価のためのアンケート結果

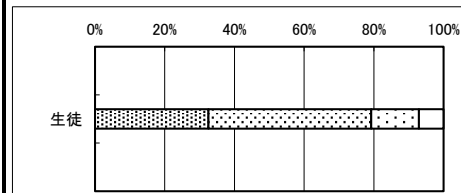
学校名 **八代市立鏡中学校**

☐ 4－そう思う
 ☐ 3－どちらかといえば、そう思う
 ☐ 2－どちらかといえば、そう思わない
 ☐ 1－そう思わない

学校教育目標

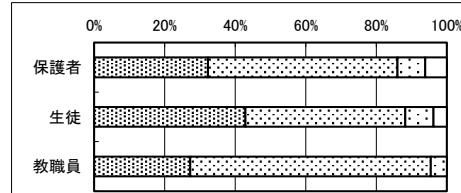
1 教育方針・目標の理解

あなたは、学校の目標（校訓など）がわかっていますか。



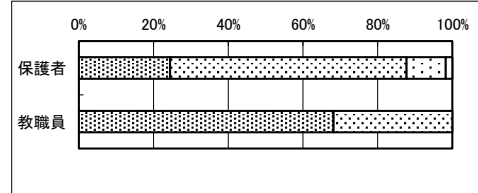
2 意欲的な学校生活

子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、職員同士が連携・協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

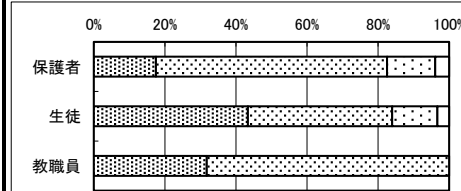


・学校の教育方針及び目標については、学年学級懇談会で直接説明するとともに学年・学級通信等に記載するなど、分かりやすく示していきます。
 ・意欲的な学校生活は、生徒や保護者の85%以上が肯定的に捉えています。今後も生徒・保護者の願いやニーズ等を把握し魅力ある学校づくりに努めていきます。
 ・教師の連携・協力については保護者の約85%以上が肯定的にとらえ、教職員においては、100%であり、まとまった組織となりました。教職員同士の報告・連絡・相談が確実に浸透しています。今後も業務改革を行いながら、学校総体として更なる課題解決に取り組んでいきます。

教科指導について

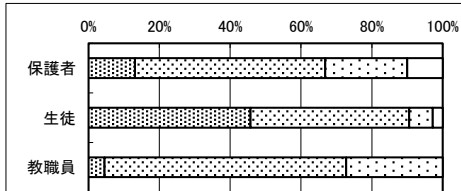
4 授業づくりの工夫

学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

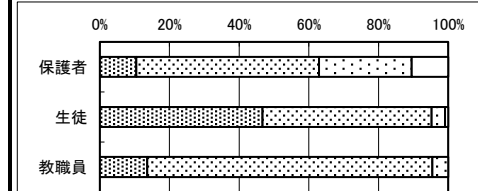


・授業づくりの工夫及び意欲的な学習態度については、教職員、保護者と生徒の間に差が見られます。生徒は学校の指導も丁寧であり自身も意欲的に学習しているという意識があります。その意欲を大切にしながら実態を的確に把握し、少人数指導、TT指導等の授業形態を工夫し、生徒の学力向上に向けて更なる工夫・改善に努めていきます。また、保護者には学校の取組を丁寧にお知らせしていきます。

総合的な学習の時間について

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

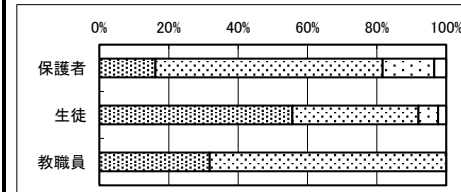


・保護者と教職員、生徒の間に意識の差が見られます。保護者の授業参観の機会確保や学級通信等で随時、情報発信を行っていきます。

道徳教育 心の教育について

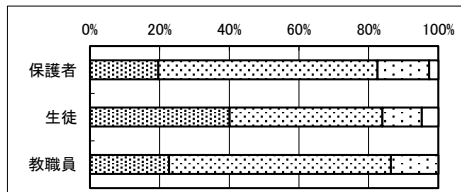
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

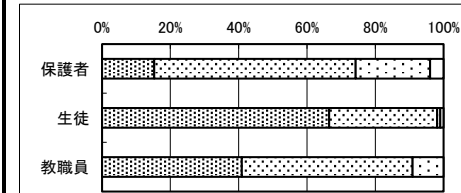


・道徳、心の教育の充実については、豊かな心を育むための基盤となることを教職員が自覚し、要となる道徳の時間を中心としながら、道徳実践力の育成に取り組んでいます。担任外の教師が学年に入って授業を行う取組を行い、生徒も大変興味深く授業を受けていました。自分の思いを素直に、適切に表現できる生徒の育成に取り組んでいます。その結果、昨年度より保護者の肯定的な割合が20%程度高くなりました。
 ・あいさつ、礼儀の励行に関しては、昨年度より保護者の肯定的な割合が20%程度高くなりました。今後とも教職員による率先垂範を心がけるとともに、TPOに応じた気持ちのよいあいさつの励行を指導していきます。同時に、家庭や地域との連携の強化を図っていきます。

人権教育について

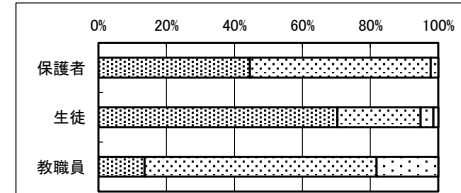
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていますと思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちを大切にしていると思いますか。

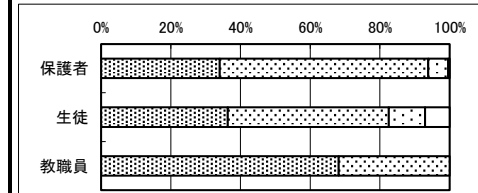


・一人一人の生徒の尊重については、人権教育を学校教育の根幹に据え、教職員が生徒にしっかりと寄り添うことを大事にしています。教職員、生徒と保護者の間に少し差が見られますが、保護者の方も70%（昨年度比+10%）を超えて肯定的に捉えていただいています。個に応じた指導を更に充実させ、認め・褒め・励まししながら、自己肯定感が高まるよう努めていきます。
 ・友だちへの思いやりについては、教職員より保護者・生徒の意識が非常に肯定的な結果となっています。今後も、支持的風土のある学級経営を目指し、相手の気持ちを考えて行動できる生徒の育成に努めます。

学校行事について

11 学校行事への参加と工夫

学校は、体育大会や合唱コンクールなどの学校行事を工夫していると思いますか。

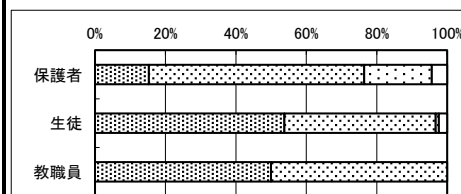


・コロナ禍により、これまで中断していた教育活動の再開において、体育大会や合唱コンクール等の各種学校行事の開催の工夫と生徒の頑張りが高い評価につながったものと考えられます。今後ともできる限りの内容の充実に努めていきます。

生徒指導 教育相談について

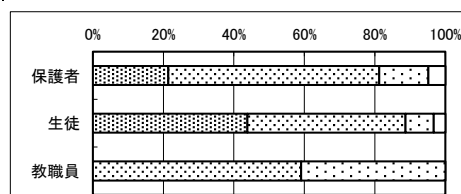
12 生徒理解

学校は、子どものよさを見つけ、理解しようとしていると思いますか。



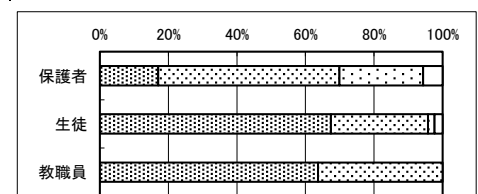
13 規範意識

子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。

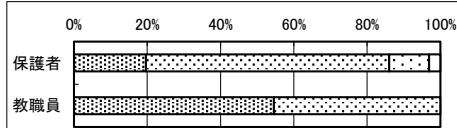


・生徒理解については、生徒・教職員は肯定的に捉えていますが、保護者の肯定的な認識（昨年度比+10%）との間には差が見られます。今後とも生徒の変容を見逃さないよう日頃の生徒観察に努め、生徒のよさを認め、ほめ、励ますことを大切に指導・支援していきます。生徒の悩み等についてはすぐに対応できるように教育相談体制やカウンセリング研修の充実を目指します。
 ・規範意識については、昨年度と同様の結果となりました。保護者との連携を図りながら、生徒に善悪の判断をしっかりと付けさせ、ルールやマナーを守る態度を身に付けさせていきます。
 ・いじめや問題への対応については、生徒、教職員は肯定的に捉えていますが、保護者の肯定的な認識（昨年度比-10%）との間には差が見られます。今後、鏡中いじめ防止基本方針を基に未然防止や早期対応、早期解決に努めていくとともに、保護者との連携を図りながらいじめや問題への適切な対応に努めていきます。なお、いじめについての情報提供や相談等の窓口は教頭としております。

健康教育 安全について

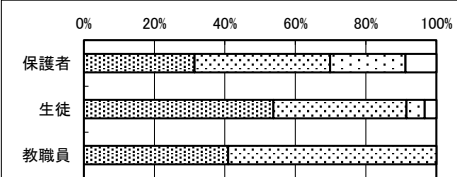
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。

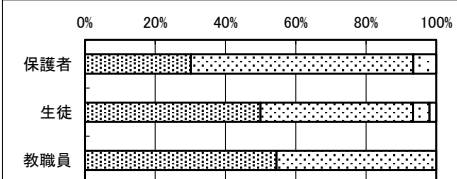


- ・安全と事故防止については、交通安全教室や、一斉下校時の全体指導などの取組を行いました。日頃の指導を通して全体ルールや交通マナーを遵守する態度を養っていきます。特に、自転車通学生徒に事故防止の指導や安全教育（ヘルメットや「たすき」の着用）を徹底していきます。
- ・体力向上については、生徒（昨年度比＋２０％）、保護者（昨年度比＋１５％）、教職員ともに高い状況です。アフターコロナにおける部活動等の本格的な再開が影響していると考えられます。体育大会や持久走大会等の体育的学校行事を工夫しながら実施したことも好影響を及ぼしたと考えられます。

学校環境について

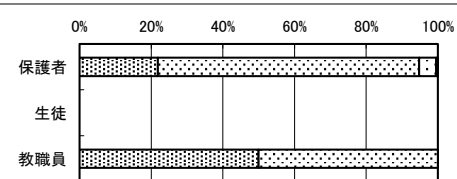
17 環境の整理・美化

学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）をきちんと整理していると思いますか。



18 施設・設備の安全管理

学校は、施設・設備を、安全でよく整備・管理していると思いますか。



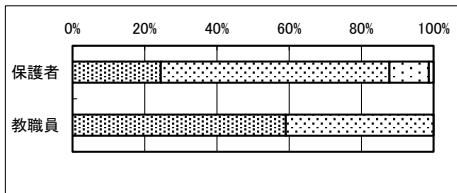
・環境の整理・美化については、昨年度と同様に高い評価となっています。三者とも評価が高くなっています。今後とも縦割り無言清掃をはじめ、校内美化や整理・整頓を心掛け、学校施設・設備をはじめ、物を大切にできる生徒の育成を目指します。

・施設・設備の安全管理についても、高い評価となっています。毎月はじめの安全点検及び日常の点検を行っています。異常箇所や破損箇所等を発見した場合には、可能な限り早期に修理・修繕等を行うなど、今後とも安全管理の徹底に努めます。

情報の公開・発信について

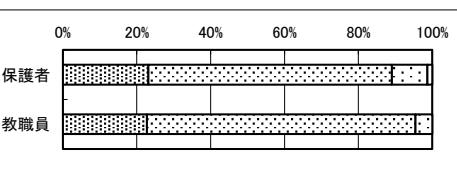
19 学校の予定等がわかる情報発信

学校は、文書やメール等で学校の情報を十分発信していると思いますか。



20 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



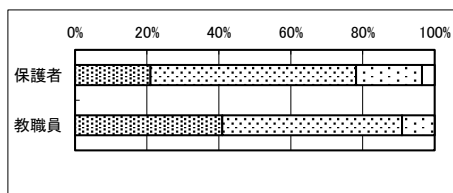
・学校の予定等が分かる情報発信については、年度はじめに年間行事予定表を配付し、保護者への周知に努めています。また、学校便り、学年通信、学級通信等で学校のようすを分かりやすい形で発信していきます。同時に、インターネットを活用し、鏡中ホームページを随時更新しながら学校の情報を提供することが不足していたので、今後に生かしていきます。本アンケートの実施においては、安全安心メール等のＩＣＴを活用した効果的・効率的な調査、及び情報発信ができております。

・教育活動への参加については、コロナ禍前と同様に、学年懇談会・学級懇談会を定期的に開催できるようにしました。今後も保護者や地域の方が参加しやすい公開教育に努めます。

家庭・地域の連携について

21 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携し協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



- ・家庭との連携については、担任や学年部との情報の共有に努め、教育活動の充実に取り組んでおります。また、PTA活動への理解を求めながら、各種情報を提供し、連携の強化を図っていきます。
- ・地域との連携については、鏡まちづくり協議会と連携しながら、学校、保護者、地域が手を携え、地域とともにある学校を目指していきます。

来年度の具体的な取組について

・教育活動の全般において、今年度は教職員の連携強化による学校全体の取組が効果的に機能している項目が数多く見られます。今後もすべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、健康衛生面にも注視しながら日常の観察や生活ノート（鏡魂）の活用、生活アンケートの実施、教育相談等をおとし、生徒の変容や心のサインを見逃さないよう努めるとともに、「愛の123運動+1」をはじめとする、心身に悩む生徒への早期対応を実践していきます。また、SCやSSW、専門機関との連携による相談活動の充実、定期的な不登校対策委員会を実施し、「チーム鏡中」として全職員で協働して取り組みます。

・学力向上に関しては、「熊本の学び推進プラン」を核に、県学力調査をはじめとする各種調査の結果分析とその具体的な対策の確実な実施、PDCA検証改善サイクルの確立と校内研修による教職員の授業力向上等に対して、学校総体で取り組みました。来年度は、「授業が分かる」「学校が楽しい」と感じる生徒の割合がさらに増加するよう本年度の取組を継続するとともに、さらなる充実を図っていきます。また、保護者と連携して家庭学習の習慣を定着させる取組を行っていきます。

・健康・安全面に関しては、生徒の登下校時における事故防止や安全教育について、地域の方の協力を得ながら家庭と連携して繰り返し取り組んでいきます。

学校関係者評価

- ・学校全体がよくまとまっていると感じる。
- ・生徒がよく挨拶をしてくれるので、すがすがしい気持ちになります。
- ・しっかり座って学習に向き合えない生徒がいるという課題はあるが、行事等の活動を積極的にやれるところがいいところ、生徒の良い部分をのばして欲しい。
- ・頑張る生徒もいるが、なかなか学校に来れない生徒もいる。学校では、「いじめ・不登校対策委員会」が月一回開催され、「一人一人の生徒に何ができるか」について話し合われている状況。生徒の成長に向け、家庭と連携しながら、あきらめずに取り組んで欲しい。
- ・ICT機器をよく活用して、分かりやすい授業を心掛けておられる雰囲気伝わった。
- ・校内の学習環境は整理・整頓されていると感じる。
- ・多くの生徒が自転車通学であり、時折ヒヤツとする場面に出くわす。繰り返しの指導が大切であると思う。